

障害者自立支援法の

抜本の見直しを求める緊急集会

—知的障害者のために相応しい福祉サービス

—そのための福祉予算の拡充を、利用者の実費負担の軽減を求める—

趣 旨

障害者自立支援法が平成18年4月より施行されましたが、その理念に反し制度上さまざまな問題が生じています。新たな障害程度区分は、利用者のニーズに応じたサービスを確保するうえで重要なものですが、3障害一元化のもと知的障害の障害特性を軽視したものとなっています。また、支援サービスに係る低い報酬単価や利用者負担の増加は、これまで築き上げてきた知的障害福祉を後退させ、知的障害者の生活を脅かしかねないものとなっています。

そこで、事業者が質の高いサービスを継続して提供するために必要な職員を確保するための報酬単価の見直しと基盤整備の推進に向けた福祉予算の拡充、かつ、利用者の食費及びそれに係る人件費等の負担を軽減するとともに、知的障害者が相応しいサービスを選択できるよう障害者自立支援法の抜本的な見直しを求める緊急集会を開催します。

日 時 平成19年6月21日（木）午後1時30分～3時30分
（受付 午後12時30分）

会 場 メルパルク東京「メルパルクホール」
東京都港区芝公園2-5-20 TEL03-3433-7211（代）

主催団体 財団法人 日本知的障害者福祉協会
全国知的障害者施設家族会連合会
日本知的障害福祉政治連盟

賛同団体 依頼中

内 容 主催団体挨拶
木村義雄障害者福祉委員長挨拶
自由民主党国会議員挨拶
基調報告
緊急アピール文採択
激励（自由民主党国会議員）
政治連盟設立総会